

みどりの食料システム戦略推進総合対策

【令和4年度予算概算決定額 837（－）百万円】

<対策のポイント>

みどりの食料システム戦略に基づき、各地域の状況に応じて、資材・エネルギーの調達から、農林水産物の生産・流通・消費に至るまでの環境負荷軽減と持続的発展に向けた地域ぐるみのモデル的先進地区を創出するとともに、取組の「見える化」など関係者の行動変容と相互連携を促す環境づくりを支援します。

<政策目標>

みどりの食料システム戦略に掲げた14のKPI（重要業績評価指標）の達成〔令和32年度まで〕

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. みどりの食料システム戦略推進交付金

591（－）百万円

地域の特色ある農林水産業や資源を生かした持続的な食料システムの構築を支援し、モデル的先進地区を創出します。

① 地方自治体、地域の生産者、事業者、大学・研究機関やシンクタンク等が連携して行うビジョン・計画策定に向けた調査・検討、有機農業指導員の育成・確保等を支援します。

② 科学技術の振興に資する以下のモデル的取組を支援します。

ア 産地に適した環境にやさしい栽培技術の検証等を通じたグリーンな栽培体系への転換

イ 環境負荷軽減と収益性の向上を両立した施設園芸産地の育成

ウ スマート農業技術を活用した持続性の高い生産基盤の構築

エ 地域資源を活用した地域循環型エネルギーシステムの構築

③ 有機農業の団地化や学校給食等での利用等のモデル的取組やエネルギー地産地消の実現に向けたバイオマスプラントの導入等を支援します。

2. 関係者の行動変容と相互連携を促す環境づくり

246（－）百万円

フードサプライチェーンにおける関係者の行動変容と相互連携を促す環境整備を支援します。

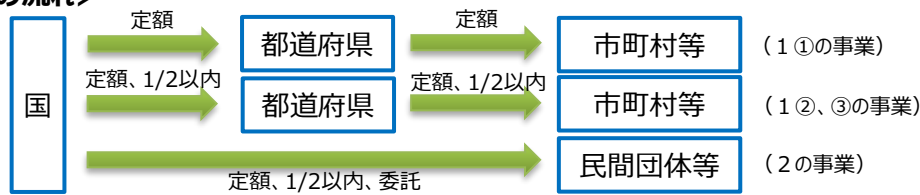
① 環境負荷軽減の取組の「見える化」や生産者と消費者をつなぐ仕組みの検討

② 事業者と連携して行う有機農産物の需要喚起

③ グリーンな栽培体系への転換に向けた技術の確立や普及啓発のセミナー開催

④ 農山漁村での再生可能エネルギー導入のための現場ニーズに応じた専門家派遣

<事業の流れ>



栽培体系の転換



減農薬・減肥料
(AI・ドローンによるピンポイント散布)



有機農業
団地化・販路開拓



堆肥の利用促進・土づくり



耕畜連携

未利用間伐材等

【みどりの食料システム戦略推進交付金】
①地域のビジョン・計画策定や人材育成
②モデル的先進地区の創出



【行動変容に向けた環境づくり】

- ・CO2排出削減量など環境負荷の軽減に向けた取組の「見える化」
- ・調達・生産・流通・販売の関係者のマッチング機会の提供
- ・農業生産のグリーン化に向けた技術体系の確立

【お問い合わせ先】 大臣官房環境バイオマス政策課（03-6738-6479）